

聖書 ローマ 5 : 1 ~ 11  
「あがないのみわざ」

2015/03/22

1. はじめに

- ・今回のテーマに係わる十字架と復活は本文 3 : 21 ~ 8 : 39 です。
- ・父なる神が人にたいする限りない愛からご自身の御子を与えてくださった。
- ・その目的は罪のうちに失われている世を神に和解させ、あがない、救うことであった。
- ・罪…的をはずす とすると、信仰…的を射る (聖書の唯一絶対の神を前提として)

2. 本文

a. 信仰によって義と認められた (1 節)

- ・どんな信仰
  - ・信仰の薄い (人たち) ……マタイ 6 : 30、8 : 26、16 : 8、14 : 31、17 : 20
  - ・悔い改め……信仰生活の第一歩
    - ・聖書について歴史的な正しい知識をもっている、また救いについて正しい「説明」を受け入れていても、まだ不十分である。より信仰に至るためには、人はみ言葉を聞き、悔い改め、信じなければならない。
  - ・回心 ……方向を転ずる ヨハネ 12 : 40、ヘブル 6 : 1
  - ・新生 ……旧生活から離れ神のいのちを受ける テトス 3 : 5

b. その結果 ……パウロの信仰の喜び

1. 和解 (1 節 ~ 5 節) ……主イエスの十字架によって神は人と和解してくださった。
  - ・平和をもっている。(和解によって)
  - ・希望をもっている。(患難の時でも)
2. 神の愛 (6 節 ~ 11 節) ……主イエスの十字架によって神は人に愛を示された。
  - ・救いの確信  
キリストの血によって義と認められた
  - ・信仰の確信  
キリストの死によって和解させられた

3. 生き方への勧めと確信

- ・信仰
  - ・和解がわたしたちの働きを中心である。(アハブテストのクリスチャンとは何か? P18)  
主イエスの生き方(生涯)を通して、私たちに生き方を示された。
- ・人生
  - ・神は、みこころのままに、あなたがたのうちに働いて志を立てさせ、事を行なわせてくださるのです。(ピリピ 2 : 13)
  - ・まことに主は、あなたのために、御使いたちに命じて、すべての道で、あなたを守るようにされる。彼らは、その手で、あなたをささえ、あなたの足が石に当たることのないようにする。(詩篇 91 : 11, 12)